

リハビリ部の取り組み 言語聴覚療法



Team Shida

言語聴覚士とは

話す、聞く、表現する、食べる…。
誰でもごく自然に行っている事が、病気や事故、加齢などで不自由になる事があります。
ことばによるコミュニケーションや嚥下に問題がある方々の社会復帰をお手伝いし、自分らしい生活ができるよう支援します。

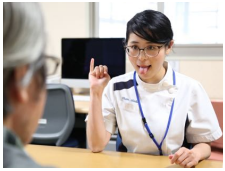
「言語」「聴覚」「嚥下」
などの障害を持つ方を
サポートします



私たちが日常生活を送る上で欠かすことのできない“ことば”と“食べる”を支援します

コミュニケーション

人と人が存在し、そこに生まれるコミュニケーション。
ことばがうまく出てこない。発音できない。声がでない。
耳が聞こえない。人とうまく関われない。
言語聴覚士は、コミュニケーションの障害に専門的
にかかわります。



飲む・食べること

食えることは、生きること、楽しむこと、幸せを感じる事。
食べ物を認識し、口に入れ、噛んで飲み込む。
それは、頭や喉、口などの巧みな機能と働きによって
行われています。
言語聴覚士は、病気や加齢などで、うまく飲み込めない、
食べられない、摂食嚥下障害のリハビリテーションを
行います。

このような活動も行っています



多職種で、食事姿勢・動作・嚥下など
食事に関する環境の検討を行う
食事環境改善ラウンド



多職種で、口腔内の状態や歯磨き
などの確認を行い、いつまでも美
味しく食べられる口づくりを目指す
口腔ケアラウンド



お口の健康の大切さを
ポスターにて呼びかけ



患者様・利用者様及びスタッフ教育



患者様・利用者様そしてそのご家族が、住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、一生安全に、
いきいきとした生活が送れるよう取り組んでいます。

コミュニケーションや口から食べることの喜びを感じ、笑顔で、自宅退院・社会復帰されることに、
少しでもお役に立てるよう努力します。

リハビリ部の取り組み・言語聴覚療法